

# メドガー・エヴァーズの歌

## — ボブ・ディランにおける プロテストソングの方法 —

三 浦 久

### 1

アメリカ合衆国におけるフォーク・リバイバルは1960年代の初期にその頂点を極める。フォークの女王と誰もが認めていたジョーン・バエズが、まだ比較的無名だったボブ・ディランを紹介し、二人で歌った1963年7月のニューポート・フォークフェスティバルが、その頂点であった。

以後、ディランがバエズに取って代わり、フォーク界の寵児として君臨する。しかしその年の11月に起きたケネディ暗殺を契機に、ディランは、「単純な」フォークソングの世界から、シュールリアリスティックな難解な歌詞を書くようになり、フォークとロックを融合させたフォークロックへの道を開いて行く。

フォークソングが狭いフォーク愛好家たちの枠を超えて注目されるようになり、フォークソング・リバイバルが起きたのは、1950年の夏、ウィーヴァーズがヒューディ・レッドベリーの「グッドナイト・アイリーン」をヒットさせてからである。しかしそこに至るまでには、30年代、40年代から活動を続けていたレッドベリー、ウディ・ガスリー、ピート・シーガー、カーター・ファミリー等のアーティストやグループの存在がある。

レッドベリーが死んでから6ヶ月後に発売された「グッドナイト・アイリーン」は、その年の夏だけで200万枚売れたと言われている。そのウィーヴァーズの成功に刺激され、50年代から60年代の初めにかけて、キングストン・トリオ、ブラザーズ・フォア、ピーター・ポール・アンド・メアリー等のフォーク・

グループが次から次へと誕生し、「トム・ドゥーリー」「グリーン・フィールズ」「天使のハンマー」等のヒット曲が生まれた。

もともとフォークソングは、作者不詳の歌で、はるか昔から、時には、先祖たちがアメリカへ渡ってくる前から、歌い継がれてきた歌である。長い年月を経る間に、歌詞がつけ加えられたり、削除されたり、メロディーやテンポが変えられたりして、現在我々が知っているフォークソングとして残ってきた。

但し、現在フォークソングと呼ばれる歌は、伝統的なフォークのソングメイキングの方法論を踏襲して作られてはいるが、作者が分かっているものが多い。これらの歌の多くは、歌詞もメロディも作者不詳の伝統的フォークに負っている。時には、昔の歌のメロディーをそのまま借りたものも少なくない。レッドベリーにしてもウディ・ガスリーにしても例外ではなく、著作権という概念は当時はそれほど明確なものではなかったに違いない。

カーター・ファミリー、ウィーヴァーズ、キングストン・トリオ、ピーター・ポール・アンド・メアリーのようなフォーク・グループが、フォーク・リバイバルのひとつの流れとすると、もう片方に、シンガーソングライターと呼ばれる自ら歌を書き、自ら歌う人たちの流れがある。60年代初期、アメリカのフォーク・リバイバルを支えた中心的なシンガーソングライターに、ボブ・ディラン、トム・パクストン、フィル・オクスがいる。彼らは、レッドベリー、ウディ・ガスリー、ピート・シーガー等の40年代、50年代から活動していたシンガーソングライターたちから多くの恩恵を受けている。

これらのシンガーソングライターたちは伝統的な歌を歌わなかったわけではない。特にディランは、彼のファースト・アルバム『ボブ・ディラン』には自作の歌は2曲しか入れていない。残りの歌の大部分が伝統的な作者不詳の歌である。しかし、彼のセカンド・アルバム『フリー・ホイーリング・ボブ・ディラン』になると全曲自作の歌になる。彼は彼が師と仰いだガスリーの足跡をたどり、自ら歌を書き始めたのである。

ガスリー、シーガー、ディランと続くソングライターの系譜をたどる時、彼

らの創作活動に大きな影響を与えたものに、50年代半ば頃から一つの運動としてまとまりを見せ始めた公民権運動があることがわかる。もしフォーク・リバイバルが洗練されたハーモニーと上品な演奏をするフォークグループによってのみもたらされたものであったなら、おそらくそのインパクトはそれほど大きなものではなかつただろうし、既成の音楽産業にたちまち吸収されてしまっていたらう。

公民権運動の中で歌われた歌としては「ウィ・シャル・オーヴァーカム」と「風に吹かれて」がよく知られている。事実このふたつの歌は、63年のニューポート・フォークフェスティバルでも歌われた。ピーター・ポール・アンド・メアリーが「風に吹かれて」を歌った後、ディラン、バエズ、フリーダム・シンガーズ、シーガー、それにセオドー・ビケルをステージに呼び、彼ら全員でフィナーレとして、「ウィ・シャル・オーヴァーカム」を歌ったが、まさにこの瞬間こそが、アメリカにおけるフォーク・リバイバルの頂点であったと言えるだろう。

しかし当時、運動の中で作られ、そして歌われた歌はこの2曲だけではない。そのことは1994年に Folk Era というレーベルからリリースされた FREEDOM IS A CONSTANT STRUGGLE<sup>1</sup> という二枚組のアルバムからも分かる。このアルバムの副題は、Songs of The Mississippi Civil Rights Movement（ミシシッピー公民権運動の歌）で、2枚のディスクに全40曲が収められている。

このアルバムの Disk 1 の3曲目から6曲目にかけて、公民権運動の活動家で、1963年6月12日に凶弾に倒れたメドガー・エヴァーズのことを歌った歌が4曲収められている。

1. Ballad of Medgar Evers, performed by the SNCC Freedom Singers. Words and music by Matthew Jones.
2. Death of Medgar Evers, performed by Donald Leace. Words and

music by Tom Paxton

3. Only a Pawn In Their Game, performed by Bob Dylan. Words and music by Bob Dylan
4. Too Many Martyrs, performed by Kim & Reggie Harris. Words and music by Phil Oches

60年代初期のアメリカにおけるフォーク・リバイバルの3人の立て役者、ディラン、パクストン、オウクスがいずれもメドガー・エヴァーズの死について歌を書いているということにまず興味をひかれる。彼ら3人に加えて、黒人の公民権運動活動家たちによって形成されたグループ、フリーダム・シンガーズによってもエヴァーズの死について歌われている。これだけ多くアーティストが一人の男の死について歌っているということからも、彼の死が当時、多くの人々に大きな衝撃を与えたということが分かる。

この小論は、これらのメドガー・エヴァーズの死について歌われた歌を比較することによって、ボブ・ディランのプロテストソングの特質を浮き彫りにしようとする試みである。

## 2

メドガー・エヴァーズは、1925年、ミシシッピ州ディカターに生まれた。<sup>2</sup> 14歳の時に彼は、父親の親友が、白人至上主義者たちに、白人の婦人を侮辱したと言いがかりをつけられ、リンチされ、殺されるのを目撃する。「私が14歳の頃、父の親友がリンチされ殺されるのを見たんだ。白人女性を侮辱したとのことで。彼の血に染まった服が、殺された野原に、長い間捨てられていた。徐々に血の色が鉄錆の色に変わっていった・・・」と彼はその衝撃的な体験について述べている。おそらくこのことが、彼のその後の生き方に強い影響を与えたであろうことは想像に難くない。

それから3年後、まだ高校在学中に、彼は陸軍に徴兵され、フランスで戦闘

に参加する。彼はフランスでレイシズムの欠如を経験する。黒人としてではなく、一人の兵士として、一人の人間として、扱われたのである。そのことがきっかけとなり、アメリカにおける人種差別の実体を把握することができたのである。ジェニー・ブラウンは彼女の『メドガー・エヴァーズ』という本の中で、次のように述べている。

第二次世界大戦は黒人の兵士にとって、ひとつの重要な分岐点であった。自国では自由が与えられていない彼らが、他国の自由を守るために戦うというアイロニーを発見したのである。彼らは、アメリカ人としての権利の多くを認められていないにもかかわらず、アメリカ人としての責任を全うするよう要求されたのである。ここで、社会的な革命のヒューズに火がつけられ、以後その流れを止めることは出来なかった。<sup>3</sup>

1946年、メドガーの21歳の誕生日の後、メドガーは兄のチャールスと他の4人の友だちと選挙登録のために郡書記の事務所へ出かけて行った。彼らはアメリカ人としての当然の権利を行使しようと思ったのである。郡の裁判所に到着した時、武装した白人の一群が彼らの登録を妨害するために待っていた。結局彼らはその時は、登録を諦めて、引き返さざるをえなかった。メドガーはその時の気持ちを「この次は絶対こうはさせないと決心した」と回想している。事実、翌年、1947年には、彼らは郡の選挙で投票したのである。

メドガーは、その後、高校を卒業し、1948年に黒人のためのアルコーン大学に入学し、52年に卒業した。専攻は経営学であった。卒業後、ミシシッピ州マウンド・バイユーのマグノリア相互保険会社に就職が決まり、在学中に結婚した妻とその町に引っ越す。そして彼はそこで以前から知っていたNAACP (National Association for the Advancement of the Colored People)、全国黒人地位向上協会に加入し、マウンド・バイユーを含むミシシッピのデルタ地域に、NAACPの支部創設のために奮闘する。彼の努力は実を結び、1953年までにミシシッピ州には21のNAACPの支部ができ、合計1600人の会員を

擁するまでになった。

1954年1月、メドガー・エヴァーズは、黒人に門戸を閉ざしていたミシシッピ大学の差別を止めさせようと、その大学のロー・スクールへの入学を申請した。その年の9月、予測されたことではあったが、手続き上の不備という言いがかりにも等しい理由で、入学を拒否される。入学は拒否されたが、一人で黒人差別に挑戦し、差別を止めさせようと大学に入学することを求めた彼の勇気が、彼のその後の人生を変えたのである。

彼は、その勇気と会員獲得の功績が認められ、NAACP本部からミシシッピ支部の支部長に任命された。そして1955年1月、家族と共に州都ジャクソンへ活動の拠点を移したのである。

彼がジャクソンへ移った年の12月、アラバマ州モントゴメリーでは、キング牧師の指導のもと、バスボイコット運動が始まった。その運動は1年以上も続き、最終的に連邦最高裁判所によって「モントゴメリーにおけるバス乗車に関する差別は違法である」という判決が下され、勝利を収めることになる。その結果、南部一帯に公民権運動が野火のように広がっていた。食堂のランチ・カウンターでのシット・インや、長距離バスでの差別撤廃を求めるフリーダム・ライドの運動等が次から次へと繰り広げられた。

キング牧師ほど全国的な知名度はなかったが、メドガー・エヴァーズも、盛り上がり始めた公民権運動の追い風に乗って、人種差別撤廃のために骨身を惜しまず働いた。様々な成果の中で、特筆すべきは、彼が入学を拒否されたミシシッピ大学へ、1962年9月30日、ジェームス・メレディスという黒人青年を、3000人の連邦軍の護衛付きではあったが、送り込んだことである。8年前の彼の夢を果たしたのである。

1963年、彼は、人種差別を行っている企業や店のボイコット運動を指導し、市役所の職員、消防署員、警察官の採用における差別撤廃を求めて、ジャクソンのトンプソン市長と闘っていた。

しかし、1963年6月12日夜、エヴァーズはニュー・ジェール・サレム・バプテス

ト教会での集会に参加し、家に戻り、ドアへ向かって歩き始めたところを後ろから狙撃されたのである。1963年6月21日のタイム誌は次のように伝えている。

エヴァーズがジャクソンの家に戻った時、真夜中を少し過ぎていた。彼は翌朝、公民権運動家たちに配るTシャツの束を抱えていた。Tシャツの胸には「人種差別撤廃」と書かれていた。エヴァーズが車を下りて2、3歩ドアに向かって歩いた時、およそ40メートル離れたスイカズラの茂みから銃弾が飛んできた。それは彼の背中から入り、彼の胴体を貫通し、家の窓と家の中の壁を突き破り、台所のカウンターの上の西瓜の横に止まった。エヴァーズの妻マーリーは3人の小さな子供たちに床に伏せるように叫び、外に飛び出した。「メドガーは戸口の上がり段で血にまみれて倒れていました。子供たちを遠ざけようとしたのですが、彼らはすべて見てしまいました——血も彼の身体の貫通した銃弾の跡も」と彼女は述べている。<sup>4</sup>

1994年2月21日のピープル・ウィークリー誌は、マーリー・エヴァーズの言葉として次のように伝えている。

銃声が聞こえた時、私はベッドから飛び起きてフロント・ドアのところへ走りました。メドガーが倒れていました。私は金切り声を上げました。その声を聞いて、子供たちが飛び出して来て叫びました。「お父さん、お父さん、お願い、起きあがって、お父さん」<sup>5</sup>

犯人として捕らえられたのは、Byron de la Bechwith（バイロン・ディラベックウィズ）という名前の白人至上主義者だった。彼は、事件直後、二度の裁判にかけられたが、二度とも、全員白人の陪審は一致した評決に到達することができず、罪に問われることがなかった。

### 3

メドガー・エヴァーズに関する以上の知識を基に、彼について書かれた歌がどのようにこの事件を扱っているか見てみよう。フリーダム・シンガーズ、ト

ム・バクストン、フィル・オウクス順にそれぞれの歌を検討し、最後にボブ・ディランの作品を検討することにする。

マシュー・ジョーンズ率いるところのフリーダム・シンガーズの「バラッド・オブ・メドガー・エヴァーズ」は静かなゴスペル風メロディで、メドガー・エヴァーズの偉大さを賛美している。

1963年ミシシッピ州ジャクソンに  
ひとりの勇敢な男が住んでいた  
彼は一生自由のために戦った  
しかしメドガー・エヴァーズは殺され墓に埋められてしまった

彼はすべての人のために真実を語った  
黒人だけでなく白人のためにも闘った  
しかし憎しみに満ちたバイロン・ディラベックウィズという白人の若者が  
メドガー・エヴァーズを殺し墓に埋めてしまった

彼は愛と尊厳と自由のことばを教えた  
奴隷になるくらいなら死んだ方がましだと言った  
しかし高性能のライフルに心臓を射抜かれ  
メドガー・エヴァーズは殺され墓に埋められてしまった

メドガーは天国でひとりぼっちではない  
ベツレヘムの小さな子供たちも一緒にいるだろう  
キリストのように彼らはあなたと私のために死んだのだ  
あなたが自由になるために彼らは死んだのだ

「キリストのようにあなたと私のために死んだのだ」とエヴァーズをキリストと同一視しているところなどは、少々大袈裟過ぎるくらいはあるが、フリーダム・シンガーズのメンバーが全員、公民権運動の活動家で、メドガー・エヴァーズを個人的によく知っていたということを考えると、彼らの気持ちは理解できないこともない。それほどに彼らにとって彼の死が大きな意味を持っていたのである。

次の「メドガー・エヴァーズの死」はトム・バクストンによって書かれたものだが、彼は過去にこの曲をレコードに入れたことはない。このFreedom Is A Constant Struggleというアルバムの中のこの歌は、このアルバムのために

Donald Leaceによって新たに録音されたものである。

この曲のタイトルにはバラッドという名前がついていないが、フリーダムズ・シンガーズの歌以上に、メドガー・エヴァーズに起こったことを忠実に再現している。エイト・ヴァースからなるこの歌を聞くだけで、エヴァーズ暗殺事件についてかなり知ることができる。ファースト・ヴァースは、彼の死を悼むところから始まる。

国民はひとりの兵士の死を悼んでいる  
銃を持たない兵士の死を悼んでいる  
自分の家の戸口で死んだ兵士  
逃げるなんて考えたこともない勇敢な兵士の死を

そして歌の中で合計4回繰り返されるコーラスが来る。

彼は戦うことをやめなかった、努力することをやめなかった  
彼は勇気を失うことがなかった、決して立ち止まらなかった  
彼は希望を失うことがなかった、死ぬことを少しも恐れなかった  
そして今、彼はアーリントン国立墓地に埋められた

セカンド・ヴァースからフォース・ヴァースまでは、彼が殺される前の白人至上主義者たちの執拗な嫌がらせ—妻や子供たちを殺すという脅迫電話、家の中に投げ込まれた爆弾など—が描写される。そしてコーラスを挟んでシックス・ヴァースへと移って行く。

これらの脅迫が二人の絆をさらに強くした  
夜の静寂の中、二人は固くいだき合った  
彼女は夫の身を案じてはいたが  
闘いを止めてとは一度も言わなかった

ある晩彼は疲れ果て家に戻ってきた  
ポーチの灯りが暖かく辺りを照らしていた  
ポーチの階段を上り始めた時  
ライフルの照準器が彼をとらえた

弾丸が彼を貫き、撃った男は逃走した  
メドガーの小さな子供たちが戸口に走った  
彼の妻は子供たちを止めようとしたが  
彼らは父親が目の前で死んでいくのを目撃した

ここで再びコーラスになり、最後のヴァースが歌われる。

メドガー・エヴァーズよ、安らかにお眠り下さい、  
あなたの闘い終わりました  
彼らはあなたを殺すことができると思っただろうが、それは違います  
アーリントン墓地にあなたを埋めることはできても  
私たちが生きている限り、闘いは終わりません  
私たちが生きている限り、闘いは終わりません

そして最後に再度コーラスが繰り返される。

「バラッド・オブ・メドガー・エヴァーズ」と「メドガー・エヴァーズの死」  
の両方の歌の中で、メドガー・エヴァーズが勇敢な男、勇気のある男であった  
ということが再三歌われている。その勇気がどのようなものであったかとい  
うことを、ブルース・シンガー、B. B.キングが自伝の中に書いている。

私の友だちであり同じミシシッピ人のメドガー・エヴァーズは銃を  
振り回す1000人の戦闘員よりも勇気があった。私はメドガーと親しかっ  
た。彼は自分の男らしさを証明することに興味はなかった。彼は農園  
で働いていた農民たちをNAACPに勧誘するために出かけて行った。  
農園のことはよく知っている。農園主たちが独裁者のように農民に君  
臨していた。彼らは農園の中では好き勝手なことをしていた。農園の  
中なら人を殺しても咎められないほどだった。だから農園へ行って、  
つまりライオンの巣の中に入って行って、「私は勧誘に来ました。100  
年以上も行われてきた慣行を変えるためにやって来ました」と言うに  
は勇気が要る。私にはそんな勇気はなかったが、メドガーにはあった。  
メドガーほど勇気のあった男を他に知らない。驚くことに、彼はこれ  
を、50年代に、そして60年代の初期にしたのだ。白人は彼を扇動者と  
呼んだが、私は彼を英雄と呼ぶ。私は彼の身を案じた。殺されないか  
といつも案じていた。<sup>6</sup>

3番目の歌はフィル・オウクスの「あまりにも多くの殉教者」<sup>7</sup>である。こ

の歌のタイトルは最初「バラッド・オブ・メドガー・エヴァーズ」だったが、上記のタイトルに変えられた。ファースト・ヴァースでメドガー・エヴァーズの14歳の時の体験が語られる。

何年も前、ミシシッピ州で  
14歳の少年が南部の掟を目撃する  
友だちが吊され殺されたのだ、皮膚の色が黒いというだけで  
血に染まった服が彼の頭から離れない

実際には、リンチされ殺されたのは、彼の友だちではなく、父親の親友であることは前述した。このエヴァーズ14歳の時の体験を最初に導入することによって、ある種の広がりを与えられ、聞く者に、その後の展開を期待させる。セカンド・ヴァースで、この14歳の少年の名前が明かされる。

彼の名前はメドガー・エヴァーズ、彼は一人で歩いていた  
エメット・ティルや名前も知らない多くの人たちのように  
彼らは彼の家に爆弾を投げ、彼を打ちのめした  
しかしそんなことで彼は決してひるまなかった

殺し屋は夜の闇に隠れ待ち伏せていた  
エヴァーズが車から下り、照準器の中に入ってきた  
引き金が引かれ、飛び出した弾丸はエヴァーズを撃ち倒した  
その時、すべての人の心臓が射抜かれたのだ

ラッパが鳴り響く中、彼は墓に埋められた  
勝利はそこまで来ていたのに  
国中が自由な未来を待ち望んでいたのに  
われわれが得たのは一人の殺人者、失ったのは一人の男

これらの4つのヴァースの最後に次のコーラスが繰り返される。

あまりにも多くの殉教者、あまりにも多くの死者  
あまりにも多くの嘘、あまりにも多くの空しい言葉  
あまりにも多くの怒り狂った男たち  
もう二度とこんなことを繰り返してはいけない

以上の3曲に共通するところは、いずれもメドガー・エヴァーズの勇気ある行為を讃え、殺人者ディラベックウィズの卑劣さを、公然と、あるいは暗黙の内に、糾弾していることである。「バラッド・オブ・メドガー・エヴァーズ」は、その傾向が最も強く、エヴァーズは「憎しみに満ちたパイロン・ディラベックウィズという白人の若者」に殺され、「キリストのようにあなたと私のために死んだのだ」とさえ言い切っている。

「メドガー・エヴァーズの死」においても、「逃げるなんて考えたこともない勇敢な兵士」「彼は勇気を失うことがなかった／決して立ち止まらなかった」「死ぬことを恐れなかった」と彼の勇気が繰り返し讃美される。ディラベックウィズやその背後にいる白人至上主義者たちの卑劣さは、妻や子供を殺すという脅迫電話や投げ込まれた爆弾の記述によって表わされている。

フィル・オウクスの「余りにも多くの殉教者」でも、「彼らは彼の家に爆弾を投げ、彼を打ちのめした／しかしそんなことで彼は決してひるまなかった」と彼の勇気ある姿勢を示している。そして「あまりにも多くの怒り狂った男たち／もう二度とこんなことを繰り返してはいけない」と「夜の闇に隠れ待ち伏せ」引き金を引いた犯人と彼の背後にいる多くの白人至上主義者たちを糾弾する。

#### 4

ボブ・ディランの「しがない歩兵」<sup>8</sup>も、灌木の茂みに隠れていた犯人によってエヴァーズが射殺されることから始まる。しかしファースト・ヴァースの最後の二行によって、他の3曲とこの歌の視点が異なっていることが知らされる。

茂みの後ろから飛び出した弾丸がメドガー・エヴァーズの血を奪った  
一本の指が彼を狙って引き金を引いた  
銃床は暗闇に隠され  
一つの手が撃鉄を起こした

一人の男の頭の後ろに  
二つの目がねらいを定めた  
でも彼は責められない  
奴らのゲームの歩に過ぎないんだから

このファースト・ヴァースは、フィルムをスローモーションで逆に回したように展開する。時間の進行通りの描写であれば、犯人がねらいを定め、撃鉄を起し、引き金を引き、弾丸が飛び出し、エヴァーズが倒れる、という順序になる。なぜディランはこのような込み入ったことをしたのだろうか。エヴァーズが倒れた所から徐々にねらいを定めた男のところまで遡ることによって、その男の存在を強調したかったからである。そして、さらに想像の上でフィルムを逆に回し続けると、その男の背後にいる者たちの所にまでたどり着く。そしてそのことによって、引き金を引いた男は、背後にいる者たちに操られている「歩」に過ぎないということに、気づかせられる。

彼の背後にいる者たちとは誰か。それがセカンド・ヴァースで明らかにされる。

南部の政治家は貧しい白人に説く  
「黒人より恵まれている、不平は言うな  
黒人より優れている、白い皮膚で生まれてきたじゃないか」  
そして黒人の名前は  
政治家の利益のために  
明らかに利用されている  
そして彼は有名になり  
貧しい白人はいつも後に取り残される  
でも彼は責められない  
奴らのゲームの歩に過ぎないんだから

サード・ヴァースでは、さらに多くの背後にいる者たちのことが明らかにされる。

保安官代理、軍人、知事は高級をもらっている

警察署長も警察官もそうだ  
でも貧しい白人は彼らの手によって道具のように使われる  
彼は学校で、最初から  
おきまりのように教わる  
法律は彼の味方で  
白い皮膚を守ってくれと  
憎悪を忘れてはいけないと  
彼は自分が置かれている状況を  
正しく把握することができない  
でも彼は責められない  
奴らのゲームの歩に過ぎないんだから

フォース・ヴァースでは、主人の命令に従順に従う犬のように、なんの痛みも伴わず、白い頭巾で顔を隠し、リンチし、吊し、殺すことができるようになる貧しい白人の姿が描写される。そして最後のヴァースが来る。

フィフス・ヴァースの最初はエヴァーズの埋葬のシーンである。ファースト・ヴァースの一行目で、エヴァーズが血しぶきを上げて倒れてから、ここまで、エヴァーズには一言も触れられていない。そしてフィフス・ヴァースでも、ディランの関心の中心はエヴァーズの埋葬の描写ではなく、「貧しい白人」である。

今日、メドガー・エヴァーズは受けた弾丸ゆえに埋葬された  
まるで王様のように手厚く葬られた  
だが弾丸を  
撃った男が  
この世を去る時に  
墓石の上の  
彼の名前の傍らに彫られる  
墓碑銘は明らかだ  
「彼はゲームの歩に過ぎなかった」

この最後のヴァースで、エヴァーズが「王様のように手厚く葬られた」と表現されているのは、エヴァーズの偉大さを讃えるためではない。それは「ゲームの歩」に過ぎない「貧しい白人」の卑小さを際立たせるためである。

そしてそれはこの歌を聞く者一人ひとりに問いかける。事実、エヴァーズが倒れたところから、フィルムを逆回しにし、ライフルの照準器を覗き込みなが

ら狙いを定めている男まで遡り、さらにその背後にいる者たちにまで辿り着く時、その逆行する動きは、そこに留まることなく、この歌を聞いている者をも捉える。

メドガー・エヴァーズの死を扱った他の歌が、彼の死を悼み、彼の勇気を誉め讃え、ディラベックウィズの卑劣さを糾弾しているのに比べて、つまり第三者として、善の立場から悪を糾弾しているのに比べて、ディランの「しがない歩兵」では、ディラベックウィズは、糾弾すべき犯人ではあるが、決してこの歌を聞く者と無縁の存在ではない。換言すれば、フィルム of 逆行する動きは、この歌を聞く者の中のディラベックウィズをも映し出すのである。そしてこの歌を聞く者の中には、勿論作者自身も含まれている。

ディランのプロテストソングが、その表現方法においてはどちらかといえば控えめであるにもかかわらず、大きなインパクトを持っているのは、まさにこの故である。次に、彼の他のプロテストソングによってこのことを例証してみることになろう。

## 5

ホテルで働くハティ・キャロルという黒人のメイドが、ウィリアム・ザンジンガーという白人の男性に殴り殺された事件を扱った「ハティ・キャロルの寂しい死」<sup>9</sup>も、「しがない歩兵」同様、アルバム『時代は変わる』に収められている。

この作品においてもディランは、ザンジンガーを非難するというよりは、彼の一連の行為を、そして彼の家庭環境を、カメラを回して撮影しているかのよう、ほとんど感情を交えず、淡々と描写する。

ウィリアム・ザンジンガーは哀れなハティ・キャロルを殺した  
ダイヤの指輪をはめた手で振り下ろしたステッキで

バルチモアのホテルの社交パーティーでのこと  
警察が呼ばれ、武器が押収された  
ウィリアム・ザンジンガーはパトカーに乗せられ連行され  
第一級殺人で起訴された  
でも恥とは何かと考え、あらゆる恐怖を批判する人々よ  
顔からそのハンカチを取りなさい  
まだ涙を流す時ではないのだから

ウィリアム・ザンジンガー、24歳  
600エーカーのタバコ農場を所有し  
裕福な両親に手厚く保護され  
メリーランド州の高官ともコネがあった  
彼は自分のしたことに、肩をすくめ  
罵り、鼻であしらい、うなり声を上げた  
そしてわずか数分で保釈され出てきた  
でも恥とは何かと考え、あらゆる恐怖を批判する人々よ  
顔からそのハンカチを取りなさい  
まだ涙を流す時ではないのだから

そして、サード・ヴァースでディランはハティ・キャロルに言及する。彼女は、51歳で10人の子供を産み、ホテルの厨房でメイドとして働いていた。皿を運び、残飯を出し、テーブルの上をきれいにし、灰皿を変えた。もちろん彼女はテーブルの上座にすわったこともなく、テーブルにすわっている客に話しかけたことさえなかった。その彼女がウィリアム・ザンジンガーの振り下ろしたステッキで殴り殺されたのだ。しかも彼女はウィリアム・ザンジンガーに何をしたわけでもない。このヴァースの最後にも「まだ涙を流す時ではないのだから」で終わるコーラスが入る。そして最後のヴァースが来る。

厳粛な法廷で裁判長が小槌をたたき  
すべての人は平等で、裁判所は公明正大  
いかなるコネがあっても法律は曲げられない  
警察に追われ捕まれば  
どんなに偉い人でも公正に扱われる  
法律の梯子には上も下もない、と言う  
そしてたまたまそう感じていたというだけで  
理由もなしに殺した男を見つめ  
黒いマントの奥から、いとも厳かに  
ウィリアム・ザンジンガーに申し渡した  
懲役6ヶ月

ああ、でも恥とは何かと考え、あらゆる恐怖を批判する人々よ  
さあそのハンカチを顔に深く埋めなさい  
今こそ涙を流す時なのだから

この最後のヴァースで、ザンジンガーのような男の背後にある社会や制度が明らかにされる。ザンジンガーは誰かに操られてハティ・キャロルを殺したわけではないが、彼もまた「ゲームの歩」に過ぎないことは明かである。

ディランはコーラスの部分で、「恥とは何かと考え、あらゆる恐怖を批判する人々」に、つまり二元的に善悪をとらえ、第三者的に悪を弾劾する人たち、そしてこの歌を聞く者たちに、忠告する。涙は、彼の卑劣な行為に対してではなく、その背後にあるもっと卑劣なものに対して、流すべきである、と。まさに、この歌においても、ディランの糾弾の指先は主として、ザンジンガーのような男を育て、許容する社会に、そして制度に向けられている。この歌を聞く者一人一人に向けられている。

「エメット・ティルの死」<sup>10</sup> は、オフィシャルなアルバムには収められてはいないが、Bob Dylan Lyrics 1962-1985では、彼のファースト・アルバムの作品の後に入れられているので、前述の二作品よりも前に書かれたことは確かである。この歌においても、糾弾の指先は、犯罪の背後にある社会に、そして、この歌を聞く者に向けられている。

それはしばらく前にミシシッピーで起こったこと  
シカゴから一人の若者が南部のドアを開け入ってきた  
この男の子に起こった恐ろしい悲劇をまだよく覚えている  
彼の皮膚は黒く、彼の名前はエメット・ティルだった

というファースト・ヴァースで始まり、次の二つのヴァースで、この若者に起こった「恐ろしい悲劇」が描写される。数人の男たちによって若者は納屋に連れ込まれ、リンチを受ける。納屋の中からは悲鳴と笑い声が聞こえてくる。そして彼らは息絶え絶えのエメット・ティルを引きずって行き、メキシコ湾に

投げ込み溺死させる。

フォース・ヴァースでは、裁判の様子が描写される。国中からこの事件に対して非難の声が上がり、二人の兄弟がエメット・ティルを殺したと告白する。しかし、陪審の中にはこの兄弟と一緒にエメット・ティルを殺した者たちも何人かいて、裁判は茶番以外の何ものでもなかった。

そして次のヴァースで、彼ら二人が無罪で釈放されるところが描かれる。

朝刊を広げたが、顔をそむけずにはいらなかった  
二人の兄弟が笑いながら裁判所の階段を下りてきた  
陪審の評決は無罪で、彼らは釈放されたのだ  
エメット・ティルの遺体は人種差別の南部の海に浮かんでいるというのに

そして最後から2番目のヴァースで、ディランはこの歌を聞く者に直接語りかける。

もしあなたがこのような不正な犯罪に抗議の声を上げないならば  
あなたの目は死人の汚物で満たされ、心は塵で満たされている  
あなたの腕には手枷、足には鎖、あなたの血は流れることを拒否してい  
るにちがいない  
なぜなら人間をこんなに最低な存在にしたのはあなたなのだから

ディランがこの歌を当時コンサートで歌ったということは、この歌がいくつかのブートレグに収められていることからわかるが、正規のアルバムに入れられなかったのは、推測の域を出ないが、二人称で語りかけるあまりにも激しい表現にあったのかもしれない。いずれにしろ、この歌の中にも、ひとつの出来事、ひとつの事件を、単に二元的にとらえるのではなく、犯罪者、社会、歌を聞く者の三者を重層的にとらえようとするディランのプロテストソングの典型的な構造を見ることができる。

そしてそのディランのプロテストソングの基本構造は、彼の最初のヒット曲

である「風に吹かれて」の中にも見ることができる。この歌はディランが歌う前に、ピーター・ポール・アンド・メアリーが歌って知られるようになったが、ピーター・ポール・アンド・メアリーはファースト・ヴァースの2行目の you を they に変えて歌った。

How many roads must a man walk down  
Before they call him a man?

ディランのオリジナルは、ここのところが、Before you call him a man? になっている。3人称の複数形の they では、この歌の持つインパクトが半減してしまう。人間でありながら人間として認められていない人がいるということは、第3者としての「彼ら」の問題ではなく、今歌を聞いている「あなた」の問題であり、歌っている「私」の問題なのである。

そのことは、ディランのすべてのプロテストソングに共通する姿勢である。だからこそ、ディランのプロテストソングが、公民権運動、ベトナム反戦運動で激しく揺れた60年代のアメリカにおいて大きな意味を持ちえたのである。

またあの時代には、多くのプロテストシンガー、トピカルシンガーが世に出たが、彼らの歌の多くは、その時代の出来事を歌うことによって、時代の変化とともに古くなってしまったが、ディランの歌は時代を超えて新たな意味を獲得しているように思われる。それは、彼の歌が、歴史的な一事件を歌っていても、彼の眼差しは、その背後にある普遍的なものに注がれているからである。

## 6

メドガー・エヴァーズの兄、チャールズ・エヴァーズは1997年1月21日、ピープル誌のインタビューの「あなたの弟メドガーが行ったことで、今日あなた方が享受している自由を促進する上で、最も影響力のあったことは何でしょうか」

という質問に次のように答えている。

それは明かです。彼が命を捧げたことです。だからこそ、私たち黒人が、正義と平等を信じている白人と共に、彼の意志を受け継いで、すべての人々の平等のための闘いを続けて行くことが重要なのです。

私たちは、黒人の子供が4ヶ月しか学校へ行けない州に住んでいました。公共の場所に黒人が飲むことのできる水飲み場はありませんでした。私たちが使うことのできる公共の施設はありませんでした。公衆トイレも使えませんでした。裁判でも何の権利もありませんでした。白人の警官に逮捕され、白人だけの陪審によって評決が下されたのです。

でも、今は違います。すべてのホテル、すべての宿泊施設を黒人も利用することができます。お金があればの話ですが。すべての学校は9ヶ月開かれていますし、黒人と白人が共に学んでいます。アメリカのどの州よりも今ミシシッピ州には多くの黒人の大学生がいます。かつては黒人の大学生は一人もいなかったのです。

私たちは多くのことを成就しました。でもまだしなければいけないことは沢山残されています。"<sup>11</sup>

メドガー・エヴァーズを射殺した容疑で逮捕され、二度の裁判で、白人だけの陪審が全員一致の評決に達しなかったために、罪に問われなかったパイロン・ディラベックウィズは、1990年に、再度告訴された。今度は、複数の新たな証人も現れ、白人と黒人からなる陪審が有罪の評決を下し、終身刑の判決が言い渡された。<sup>12</sup>

#### 注

Special thanks to Mary Aruga for her invaluable help in transcribing the lyrics for "Ballad of Medgar Evers" and "Death of Medgar Evers"

1. Freedom Is A Constant Struggle/Songs of The Mississippi Civil Rights Movement, Folk Era FE1419CD, 1994, RM Distributing, Div. of Aztec Corporation, Naperville, IL
2. The most of the information on Medgar Evers in section 2 of this paper is derived from "A Bullet from the Back of a Bush—The Life and Death of Medgar Wiley Evers" published in "Dignity", No.9, Mar/Apr 1997, pp.18-24
3. Jennie Brown, Medgar Evers—Activist, Holloway House Pub House

- Co, Los Angeles, 1994, p. 157
4. Time, June 21, 1963
  5. People Weekly, February 21, 1994  
(<http://www.pathfinder.com/people/imageawards/ever2.html>)
  6. B.B. King & David Rits, Blues All Around Me/The Autobiography of B.B King, Avon Books, New York, 1996, pp. 235-236
  7. <http://www.cs.pdx.edu/~trent/ochs/lyrics/>
  8. Bob Dylan Lyrics 1962-1985, 晶文社、1993年、pp. 97-98
  9. Ibid, pp. 102-103
  10. Ibid, p. 23
  11. People Online Hosts Civil Rights Activist Charles Evers January 21, 1997  
(<http://www.pathfinder.com/people/interactive/everstrans.html>)
  12. People Weekly